



日本共産党・前県会議員

2021年9月15日

加藤なを子



県政へのかけ橋 活動レポート

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

<連絡先>藤沢市藤沢2-3-2

TEL0466-25-4776 FAX 25-4761

救える命が救われない！



日本共産党藤沢市議会議員団は8月31日、鈴木恒夫市長に対して、コロナ対策についての申し入れ（第5次）を行いました。

◆県に、療養施設の「神奈川モデル」は見直すように

県は新型コロナウイルス感染者の状態に応じて医療機関を割り振っていく「神奈川モデル」で、「無症状、軽症の人は宿泊施設や自宅で療養」としていますが、さらに当面「原則、療養者は自宅療養を基本とする」として、宿泊療養をさうとう絞り込んでいます。この方針の撤回と、臨時の医療施設などの大規模増設・確保を、神奈川県に申し入れすること。

- 療養施設の整備と病床確保
- 検査の拡充・ワクチン接種
- 市内事業者への十分な補償
- 女性支援（生理用品など）
- 子どもに不織布マスク支給
- 市民活動の環境整備など

◆PCR検査を抜本的に拡充すること

高齢者施設・障害者施設従事者だけでなく、入所者・利用者にも検査を拡充すること。医療機関、学校、保育所、幼稚園、放課後児童クラブ従事者にも一斉に定期的検査を実施すること。

◆医療機関、医療従事者への支援、飲食店、事業者、事業所などの支援

医療機関への減収補填、飲食店などへの「時短協力金」「休業協力金」のすみやかな支給、減収事業者への十分な補償を行なうこと、介護事業所、障がい者福祉事業所などへの収入減収に対する補償、学生への経済的支援、生活支援を行なうこと。

なを子の花だより

今週は夾竹桃 ひっそりとすきまに



白い夾竹桃（キョウチクトウ）ですが、なんと家の塀と縁石の間から咲いているのです。ほんの隙間の土から花束のようにひっそりと！鳥が落とした種で発芽したのでしょうか？まさに生態系による素敵な演出です。葉が竹に似ていること、花が桃に似ていることからこの名前になったといわれています。葉は裏側にくぼみがあり、毛が生え、フィルターの役割があります。公害や排気ガスに強いので街路樹や緑化として植えられています。葉、枝、根、果実すべてに毒があるそうです。



村岡新駅周辺地区整備事業について公聴会開催

都市計画決定にいたる手続きとして、8月27日8名の方が公聴人として意見を述べました。すべての人がこの計画について異議を唱え、見なおし、中止、再考を求める内容でした。

理由や意見も共感でき、説得力のある意見や提案が行なわれました。

「周辺住民の安全安心を優先してほしい。」 (4歳のお子さんのお母さん)

住民が望んでいる【跨線橋】の改良は計画には含まれていない。また南北(東海道線をはさんで行き来する)車道は計画がなく、歩行者通路のみ。ヘルスイノベーションで地元での車の通行が減るわけではない。減少するというなら根拠を示してほしい。

私もこの【跨線橋】について、市議の時、担当課に要求しました。

信号機による一方通行の道路であり、歩行者、自転車が一緒に通行する危険な道路です。通行する住民の安全対策としても早急な改良が必要だと要求しました。市は当時、村岡新駅設置と一体で改良工事を行うと言っていました。今回の「計画」には、改良工事は入っていません。



市の「公聴会」で出された主な意見は

計画の根拠となっている、国鉄湘南貨物駅の用地等に関する新駅設置の請願が全会一致で採択されたについて、内容は東海道線の駅ではなく根岸線の藤沢までの延伸計画だった。間違った解釈により進められようとしている。

公共性、緊急性を検討して決めるべきで、福祉、医療、災害対策こそ充実するべきである。

新駅は6万5千人が利用するとしているが、現実的でない。住民不在で計画を進めないでほしい。

**住民の安全対策より、
新駅と広場が先?!**

この地域がハザードマップの「洪水浸水想定区域」になっている。水害が予想される危険な土地に駅や道路をつくるのはやめるべき。水害を防ぐための遊水地公園を。

深沢の開発と一体ではなく切り離すべき。JRの土地処分が目的のまちづくりや、工場や企業のための駅はやめて、人を中心としたまちづくりを。

市民の切実な要望より、企業の利益のためのまちづくり計画はやめるべきです。

今後、市は公聴人の意見に対して市の考え方をHP等で公開すると説明。12月都市計画案の縦覧、意見書の受付、1月都市計画審議会へ付託、3月が都市計画決定というスケジュールになっています。市や審議委員は手続き上、意見を聞いただけに終わらせず、内容を受け止め、中止の決断をすべきです。